学校番号	218

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術の授業では、作品の制作と鑑賞を行います。その時、もちろん自分の作品を完成させることや、鑑賞した作品について感じる・考えることが目標になります。ただ、その活動の中から、生活の他の場面でも活きてくる新しい視点を見つけられればより良いと思っています。

新しい視点を見つけるというのは、例えば、何かを観察して描写する中で、普段見えなかったその物の特徴に気付いたり、ある作品がどういう意図でデザインされたか考えることで、身の回りの様々な製品についてもどうしてその色や形なのか考えるようになったり、といったことです。

そのように、授業から自分の中に新しいものを取り入れるためには、本気で活動に取り組むことが必要です。本気になるために一番手っ取り早いのはその活動を「楽しむ」ことです。
なので、もし興味が持てなかったり苦手だったりすることであっても、「やってみたら案外楽しいかもしれない」と思って、楽しみを自分で見つけ出すつもりで授業に臨む方が自分にとってプラスだと思います。

2　学習の到達目標

・美術の幅広い活動を通して美術文化に対する理解を深め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
・表現活動を通じて自己の主体性と独自性を確認することで自己を肯定し、様々な対象や経験から豊かな美的体験を得られる感性を育み、自らを取り巻く他者と世界を肯定し、それらを合わせて人生を肯定的に捉えて生きていくための力とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な美術文化への理解を幅広く理解している。 創造的な表現をするために必要な技能を見につけ、表現している。	創造的な感性のもとに、想像力を働かせて主題を形成し、構想を練っている。 作品の良さや美しさを感受し、自らの意図に基づいて工夫しながら制作している。	美術文化に興味・関心を持ち、主体的に表現方法を工夫しつつ完成度を追及して表そうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	身近なものを描く	・日常生活の身近なところにあるものを、改めて見つめ直して観察する。 ・新たな視点で見つけた形や色の良さや美しさ、愛着などをもとに、存在感や雰囲気を捉えてスケッチする。	a:形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や画材などの特性を生かして表す。 b:身近なものの特徴や美しさなどを基に、形・色彩・質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	作品	作品	観察
	ロゴマークを作る	・自分の名前のイニシャルをモチーフとしたロゴマークを制作する。 ・伝えたい、表現したいイメージや情報を整理し、印象に残るロゴマークをデザインする。	a:　認識されやすい効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて表現する。 b:伝達する内容や目的と、見やすさ・美しさの調和を考えて、構想を練ったり鑑賞したりする。 c:誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 アイデアスケッチ	振り返り アイデアスケッチ 観察

2学期	パッケージデザイン	・包むものの形やイメージ、用いる場面や使用する年齢層などに着目し、美しく機能的なパッケージをデザインする。	a:形や色彩、使用する素材の質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、表現方法を工夫し、目的や計画を基に創造的に表している。 b: 目的や条件、美しさや使いやすさ、入れるもののイメージなどを基に、形や色彩などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 c: パッケージをデザインする学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 アイデアスケッチ	振り返り アイデアスケッチ 観察
	イラストレーション	・詩を読み、心に浮かんだイメージを基に、発想を広げ画材や表現方法を工夫して制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取りながら意見交換する。	a:ことばだけでは伝わりきらない内容を、視覚的にわかりやすく、魅力的に表現している。 a:形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、想像した世界を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 b: 詩を読み感じ取ったことや考え、想像したことから主題を生成し、形や色彩、構図などについて考え、イメージを組み合わせるなど、創造的な表現の構想を練っている。 b:イラストレーションの造形的な良さや美しさを感じ取り、伝えたい内容を表すための表現の工夫について考え鑑賞する。 c: 主体的に、イメージや想像、詩から読み取り感じたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 c:イラストレーションの楽しさや美しさ、表現の工夫などを鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 アイデアスケッチ	振り返り 作品鑑賞カード アイデアスケッチ 観察

3学期	文様をデザインする	・日本や諸外国の文様を鑑賞し、表現の工夫や生活との関わりを感じ取り、形や色を考えてデザインする。	a:形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、文様を全体のイメージや作風・様式などで捉えることを理解している。 a:意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫して、目的や計画を基に創造的に表している。 b:動植物やものの形や色の特徴などから主題を生成し、色と形の組み合わせや構成などの効果について考え、創造的な表現の構想を練っている。 b:日本や諸外国の文様の目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、形や色、構成の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:自然物の特徴などを生かして文様をデザインする学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 アイデアスケッチ	振り返り アイデアスケッチ 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度